

常陸水戸の城主石井右京大夫義實金津の先陣を
付し所領引替移家康公の命より主殿を水戸八拾貳
万石に取上りお州秋田にて十八万石を不替保付ら
れり

附

金津の城主蒲生氏郷文録四年二月歿死の後
子島蒲生秀行其長三年に官位に移されしを
跡上杉宗勝越後より金津城に移り米沢に直
江山城に移り其長六年に上杉宗勝金津より
米沢城に移されし

奥州金津百廿五万九千石

從三位中納言宗勝上杉輝虎道謙信の家督
實長尾越前守政景の子則謙信の甥ありしを
喜平次と云ふ謙信の養子三郎宗虎（北条氏康の）と
家督を争ひ石戦ふひまより白山よりこれを討滅後
と治め太閤にあらむより七十五万石をたぬり金
津に轉封せしる官中納言にあり五大老より

家臣

北万石 羽州米沢	直江山城守兼候	三万石	藤田社登守從長
二万石 白石	甘粕備後守清長	二万石	本庄出羽守